

### 切り口用仕上剤

品 名		特 徴
下 塗 剤	目止め液 #328	切り口面の毛羽立ちを抑え、平滑にする。
	TX下塗り	切り口面の吸い込みを抑え、平滑にする。
	目止め液 #686	粘性があり、切り口面の吸い込みを抑える。
着 色 剤	サーマルコート S SG	切り口用着色仕上剤の標準タイプで多くの素材に対応。 SG → サーマルコートSの高粘度タイプ。
	サーマルコート MS MSG	MS → サーマルコートS のマットタイプ。 MSG → サーマルコートSG のマットタイプ。
	サーマルコート E T	E → サーマルコートS の半マットタイプ。 T → サーマルコートSの浸透タイプ(アルコール含有)
	NTコート	塗膜の柔軟なタイプで、特に柔らかな素材に最適。 NTコートM → NTコートのマットタイプ。
	TMコート	着色剤にメタリック顔料を使用したタイプ。
	フレッシュコート	着色剤に蛍光顔料を使用したタイプ。
	ファインコート	特殊ナノ顔料を使用し、透明感のある発色をするタイプ。
	シックコート	簡便な工程で盛り上がった仕上がりが見られるタイプ。
	スプレッドコート	粘性と伸張性があり、高いゴム弾性を持つタイプ。

ト ツ ブ 液	レザーコート L M	切り口着色剤仕上後、塗布。 平滑性・防水性の向上。 M → マットタイプ。 油性タイプ。
	AQレザーコート	切り口着色剤仕上後、塗布。 平滑性・耐熱性の向上。 AQレザーコートM → マットタイプ。 水性タイプ。
	上塗り液 #4 PM #16	水性切り口液仕上後、塗布。 水性マットタイプ。 #4 → 高マットタイプ。 #16 → 完全マットタイプ。

#### 【使用方法及び使用上の注意】

- ・サーマルコートなどの切り口着色仕上剤はハケや布、またはフェルトやコバ塗り機などで塗り込んで下さい。
- ・着色剤やツヤ消し成分が沈降しますので必ず良く攪拌して色を均一にしてからご使用ください。
- ・重ね塗りをして仕上膜が厚くなり過ぎますと、素材によってはワレを生じる場合がありますのでご注意ください。
- ・低温下でのご使用は造膜しないことがあります。
- ・同じ切り口着色仕上剤同士は混合できますが、他の切り口着色仕上剤との混合は固まるなど物性に問題が出ますので出来ません。
- ・『目止め液 #328』など下塗り仕上剤の代わりに、フノリやCMCなどは絶対に使用しないでください。弊社切り口用仕上剤とは密着しません。
- ・使用状況によっては十分な効果が得られない場合があります。事前に仕上げテストを行い、必ず物性をご確認ください。
- ・換気の良い所で作業を行い、防護メガネ、マスク、保護手袋など保護具を使用してください。
- ・変質を避けるため一度容器から出した液は、元の容器に戻さないで下さい。

※ 使用素材の状態や作業条件など、変化する要因も多いため、事前に必ず仕上を行い、ご確認下さい。

ここに提供する情報は、弊社で信頼できると信じる資料に基づくものです。一旦、顧客の皆様の手に渡った弊社製品については、その使用条件・方法などの管理ができませんので、弊社では責任を負いかねます。

クレーム防止のため、仕上後の商品に対する検査および物性などは、責任をもってご確認下さい。

詳細が必要な場合には、安全データシート（SDS）をご参照し、内容をご確認ください。

東京：〒111-8610 東京都台東区寿4-16-7

TEL：03-3844-7117

FAX：03-3843-1277

大阪：〒550-0003 大阪市西区京町堀2-13-6

TEL：06-6448-7814

FAX：06-6448-7791

株式会社 **JOYPA** 化成品ルート

www.columbus.co.jp